釜石には KAMAISHI 愛 がある

2020年5月1日号 No.1735

広報 かまいし お知らせ版

山火事防止運動月間（5月31日まで）

守りたい　森と未来を　炎から（山火事防止運動全国統一標語）

山火事の多くが、ちょっとした火の取り扱いの不注意から発生しています。山火事への防火意識を高め、山火事防止にご協力をお願いします。森林周辺に住んでいる人や山に入る人は、次のことに注意して山の緑を火災から守りましょう。

1. 強風時や乾燥時には、たき火、火入れ、野焼きをしない
2. 火災が起こりやすい枯草などのある場所では、たき火をしない
3. たき火の場所を離れるときは、完全に消火する
4. たばこの吸い殻を投げ捨てない
5. 森林の周囲１kmの範囲では、野焼きは火入れと見なされ、市長の許可が必要となる（農業、林業または漁業を営むために、やむを得ず行われる廃棄物の焼却や、たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却で軽微なものなどは許可不要）
6. 火遊びはしない



尾崎半島林野火災、火災発生直後（尾崎白浜漁港から撮影）

平成29年５月８日に平田地区で発生した山火事では、消防団をはじめ自衛隊などによる懸命の消火活動より、２週間後に鎮火宣言が発表されました。山火事による焼損面積は413haにも及び、長い時間をかけて育てた森林が一瞬で失われました。

５月は、空気が乾燥し風の強い日が多いため、火の取り扱い、後始末には十分注意しましょう。

「ツキノワグマの出没に関する注意報」県全域に発表中!!

クマを目撃したら



クマを目撃したり、出没の形跡を見かけたら、被害の大小を問わず市農林課に連絡してください。

クマに遭ってしまったら

背中を見せて走るとクマは本能的に追いかけてきます。クマから目を離さずに、慌てず、騒がず、ゆっくりと後ずさりしましょう。その際、クマとの間に、樹木などの障害物を挟むことで、突進を防ぐこともできます。物を投げるなどクマを刺激することは避けましょう。また、遠くにいるのを発見した場合は、静かに立ち去りましょう。

クマを誘引しないためには

クマは、屋外に置いてある生ゴミや残飯、空き缶、廃棄農作物、実のなる木などに誘引されて人里に出没します。これらを適切に処分、管理することでクマの誘引を避けられます。また、クマが身を隠すことができる雑草なども刈り払っておきましょう。

入山するときは

自分たちの存在を知らせるために、ラジオ、鈴、笛など、音のするものを身につけましょう。また、クマの行動が活発な朝夕や霧が出ている時の入山、単独行動は避け、クマの出没状況も確認しておきましょう。クマの足跡やフンを発見した場合は、引き返すかう回しましょう。

問い合わせ　市農林課 林業振興係　☎27-8426